STRDESIGN V20.3 レベルアップ項目について

以下3点の計算内容について機能強化対応を行いました。

【計算】

No	項目	詳細
1	計算可能な延床面積の	STRDESIGN 20.2 まで大型対応版は 2,000 ㎡までとしていま
	制限值変更	したが、延床面積の制限値を、3,000 m ³ まで拡張する機能を追加
	(大型対応版のみ)	しました。(ただし、ご利用条件がありますのでご注意ください)

【修正】

No	項目	詳細					
1	壁量計算	46条壁量計算指定で、1-46条(2025年)を選択した場合、早見					
		表の適用条件が出力されます。					
2	建物規模・46条	PH 階面積の入力欄が追加されました。					

【計算1.計算可能な延床面積の制限値変更】

大型対応版のみ表示されるフラグです。【最高高さ・面積(自動算定)】から選択できるように なりました。

「物件情報」タブの「最高高さ・面積(自動算定)」プロパティを表示させます。

「計算可能な延床面積の制限値変更」フラグで以下を選択します。

"0 - 2000 m²"、"1 - 3000 m²"を選択し、「更新」を押下し閉じます。

選択それぞれの意味は以下のとおりです。

- 0 2000 m²: 現状のままで計算できる延床面積が 2000 m²まで
- 1 3000 m : 計算できる延床面積が 3000 m まで**
 - ※Windows 32bit プログラムの動的メモリ確保容量の制限により、部材数が多いと動的 メモリが 確保できず計算できない場合があります。計算可否はすべての部材を入力し 計算しなければわかりません。回避には部材数を減らすしか方法がございませんので、 予めご承知おきのうえ、ご利用いただきますようお願い致します。

※延床面積の制限値チェックは、部屋入力時および構造計算実行時に行います。

【 修正1. 壁量計算】

46条壁量計算指定で、1-46条(2025年)を選択した場合、早見表の適用条件が出力されます。

「物件情報」タブの「建物概要」プロパティを表示させます。

「46条壁量計算指定」フラグを選択します。

- 0-46条(旧基準)、1-46条(2025年)を選択し、「更新」を押下し閉じます。
- 0 46条(旧基準):「46条に定める壁量の算定」の「壁量の算定表」の下に、「床面積に 掛ける係数」を出力
- 1-46条(2025年):「46条に定める壁量の算定」の「壁量の算定表」の下に、「早見表壁 量係数取得条件」を出力

3.1 壁	重の算定表					
	建物最高軒;	岛	6200mm			
	建物最高高	ъ	8188mm			
	評価項目		1 階	2階		
地に	床面積		69.15mi	53.00m²		
	(小屋裏収納面積) < P H 階>					
慶よ	地震力に対する	肇重係数	38.00 cm / mỉ	26.00 cm / mỉ		
71-2	必要 壁 重		2627.56cm	1377.96cm		
	目 (1 五 4	× 方向	48.28mi	18.76mi		
風に	見刊曲積	Y 方向	39.51mi	18.62mi		
圧よ	風圧力に対する壁重係数		50.00 cm/mi			
カる	必要肇重	×方向	2414.00cm	938.00cm		
		Y 方向	1975.50cm	931.00cm		
	必 要肇重	× 方向	2627.56cm	1377.96cm		
	Ln	丫方向	2627.56cm	1377.96cm		
	存在肇重	× 方向	4413.50cm	1592.50cm		
壁	Ld	Y 方向	5824.00cm	2047.50cm		
重	1 4 / 1 5	× 方向	1.68	1.16		
Ŧ		Y 方向	2.22	1.49		
т	不足長さ	×方向	-1785.94cm	-214.54cm		
2		Y 方向	-3196.44cm	-669.54cm		
ク	信之史	×方向	0.08	0.10		
	141-10半	丫方向	0.02	0.08		
	判定	×方向	OK	0K		
		丫方向	ОК	OK		

3 令 4 6 条に定める壁重の算定

早見表肇重係数取得条件				
建物谐数	2階			
2階階高	2.8m			
1階階高	2.8m			
標準 せん断力係数	0.2			
太陽光発電設備等使用有無	あり			
2階の床面積/1階の床面積	0.8			
屋根の仕様	スレート屋根			
外壁の仕様	サイディング			

係数の取得条件が出力されます。

見付面積にかける係数

	係数(cm/mì)
特定行政庁が特に強い風	50~75の間で特定行政庁が定めた値
が吹くとして定めた地域	
その他の地域	50

【修正2.建物規模・46条】

建物規模・46条の入力画面に PH 階面積の入力欄が追加されました。

「壁量計算」タブの「建物規模・46条」プロパティを表示させます。

必要に応じて、PH 階の面積を設定(マイナスを削除して入力)し、「更新」を押下し閉じます。

白い項目でマイナスがついている値 薄赤の項目はプログラムで算定され	iは、自動算定された値 1た値のため変更できま	です。任意の値に変更す せん。	お場合は、プラスの値をク	し力してください。	1	壁量係数の説明	
地震力による	1階		2階		38皆		
【床面積】(m²)	-69.1	5	-53.00		0.00	ק	
【小屋裏収納面積】(m²)	-0.00		-0.00		0.00		
【PH階面積(階上)】(m²)	-0.00		-0.00	-0.00		0.00	
L壁里(赤奴J(Cm/m))	-29.00		-10.00		0.00	 	
【必要壁量】(cm)	2005.3	5	795.00		0.00		
E小径チェック	1階		26皆		3階		
【制限値dc/L】	-30.0	0	-33.00		0.00		
【柱の必要小径dc】	-105.0	0	-105.00		-105.00		
し圧力による							
【見付面積】(m²) 「	1階(X) 	1階(Y) _20.51	2階(米)	2階(Y) - 19 60	3階(X)	3階(Y)	
	40.27	03.01	10.70	10.02	0.00	0.00	
	-50.00 (cm/m²)	AP150 A	official			
【必要壁量】(cm)	10首(ス) 2413.50	1975.50	938.00	20首(1) 931.00	3PB(X)	302(1) 0.00	
注导式							
至至)122八日動的1頁/	1階(×)	1階(Y)	26皆(×)	2階(Y)	3階(×)	3階(Y)	
【必要壁量 Ln】(cm)	2413.50	2005.85	938.00	931.00	0.00	0.00	
【存在壁量 Ld】(cm)	4418.00	5826.50	1592.50	2047.50	0.00	0.00	
[Ld/Ln]	1.83	2.91	1.70	2.20	0.00	0.00	
【不足長さ】(cm)	-2004.50	-3821.15	-654.50	-1116.50	0.00	0.00	
【偏心率】	0.08	0.02	0.10	0.09	0.00	0.00	